

蔵所写真工芸 NEWS

VOL. **74**

記事:蔵所/小濱 編集・装幀レイアウト:佐藤 2019.11.20 発行

PICK UP NEWS 大阪勧業展 出展レポート

弊社は去る10月16、17両日にマイドーム大阪で開催された大阪勧業展に出展しました。大阪勧業展は、大阪及びその近隣の中小の事業所360社余りが出展する、この手の展示会では大阪で最大のものです。今まで来場者として何度か訪れたことはあったのですが、今回初めて出展者側になりました。

本番から2か月近く前の出展者説明会に始まり、配布するサンプルとチラシの作成や、ブース内の壁に掲げるポスターの作成で、準備期間はあっという間に過ぎました。開催前日は、午前と午後、1回ずつ現場を訪れて、ブースの設営を行いました。

当日は開場ギリギリに到着し、通り過ぎる来場者を片目に、急ぎ前日残していたブースの仕上げを完成させ、いざ出陣。目の前を通り過ぎるお客さんに声かけを始めます。

今回の弊社の展示のねらいは、お米等の非常に小さな物に刷った高精細印刷を拡大鏡の下に置いて、お客さんに覗いてもらって「へえー!」と驚いてもらいます。キャッチ。そして今回の弊社の展示のメインである、ステンドレスやアルマイトといった、従来インクジェット印刷が苦手とする素材に印刷可能であることをアピール。弊社の仕事内容を知ってもらいながらお客さんと情報交換から名刺交換、という一連の流れに呼び込むという物です。以前、2回ほど知り合いの展示会を手伝ったことがあるので、そのあたりの感覚はおおむね頭に入っています。通り過ぎるお客さ

んは皆、首から業種の札を掛けているとは言えないものの、外見からは仕事内容や会社の規模、どんな地位の人かは判断が付きません。なので、とりあえずかたづけしから声をかけていきます。最初のキャッチに成功すれば、だいたい先ほど説明した流れに引き込むことができましたので、狙いはまずまず成功といったところでした。



弊社のブース風景。初日は入口近くの好位置でしたが、2日目は順路が逆になったので、出口近くになってしまいました。

こちらにも楽しみつつ、また、両日とも午後からは弊社社員の小濱にも手伝ってもらいながら、あつという間に時間は過ぎて、二日間で50名弱の来場者と名刺交換することができました。

このように展示会そのものはまずまずだったのですが、問題はここからです。名刺交換した人にお礼のメールを送るのはもちろんのこと、ここはと思う所にはアポを取って会社訪問まで漕ぎつけたいといけません。我々にとつての勧業展はまだしばらく続きます。(蔵所)

TOPIC

息子と栗拾い

最近では春秋のシーズンが短くなった感じがします。そんな短い秋を楽しもうと、10月初旬に箕面の方に栗拾いに行きました。私自身栗拾いは行ったことがなく、ほんの少しだけインターネットで調べて当日を迎えました。（今の時代は栗農家でもHPを持っている事に関心しました）

栗拾いというぐらいだから、「落ちてる栗を拾うだけ」と、何の準備もせずに普通に買い物に行くような格好で行きました。ところが農園のスタッフの方にここで栗拾いしてくださいと言われた場所は、大人でもかなり気をつかわなければ転げそうな急斜面でした。完全に盲点でした。「農園」のイメージから私は平らで広大な敷地に栗の木が植えてあるものだと思い込んでいました。

息子はまだ2歳なので、この斜面がどれだけ危険かを認識できません。ですが普段窮屈な都会に住んでいる子が山に来てテンションが上がらないはずがありません。すぐに暴走し、私は栗拾いどころか、子どもが転げ落ちないようにフォローする事ぐらいしかできませんでした。

急斜面だった事もあり、しばらくすると息子は疲

れたのかおとなしくなったので、私はようやく栗拾いを始めました。栗拾いシーズンだったので落ちている栗はすでに誰かに拾われており、落ちていてもあまり綺麗でなかったため、今にも木から落ちそうな熟れた栗を木からたたき落とし、なんとか綺麗な栗を確保する事に成功しました。

急斜面で疲れるし、当然虫もいるし、蜘蛛の巣もいっぱいあるしで大騒ぎでしたが、少しぐらい苦労があった方が後々良い思い出になるものです。

子どもがいなければ絶対に栗拾いに行くことはなかったため、ある意味感謝です。

因みに拾った栗は蒸して食べました。砂糖をつけて。（小濱）



インクジェット

サンプル案内

今回のサンプルは、100均で売っていたボタンの縁に、細かい文字を印刷したものです。印刷位置の正確さに挑戦してみました。印刷する前にボタンの大きさをノギスで測ってみましたが、個体差があるうえに、形がいびつになっていることも判明。データサイズを調整したり、位置を慎重に合わせたりして、何度か試作をくり返しましたが、なかなか縁の一番高い所ドンピシャに印刷することはできません。やむを得ず、少しの位置ずれはOKということにしました。こんな事情ですので、ちょっとのずれは大目に見てください・・・（蔵所）



※カラフルなボタン10個がセットで100円。
どれも当然同じ大きさだろうと思ったのですが・・・

材 料 樹脂製ボタン

印 刷 UVインクジェット印刷
解像度720dpi

材料前処理 無し

印刷後処理 無し

密着状態 あまり良くありません

くらしよしゃしんこうげい
有限会社 蔵所写真工芸

〒535-0022 大阪市旭区新森5丁目8-25

ホームページ <https://www.kurasho.net>

TEL 06-6952-4443

FAX 06-6958-2682

kurasho@osaka.email.ne.jp

蔵所写真工芸

検索